

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	3名
日 時	平成23年 7月 2日(土) 10時40分～12時00分		
場 所	公民館 大ホール		
【協議事項】 (テーマ等)			
・ 自己紹介			
・ 事務局の役割について			
・ リーダーの選出 辻 小夜子さんをお願いすることになりました。			
①子どもの医療費の無料化について			
県内でも北方町だけ小学生以上の医療費がかかる。			
義務教育の間は無料にしてほしい。			
新築住宅の固定資産税免除の制度があるが、財政は厳しいのか。			
持病がある子どもには、負担は大きい。			
医療費がかかるために町外へ引っ越す人もいる。			
今住んでいる人たちが住みやすいように考えてもらいたい。			
持病はアトピーが多い。			
大学生以上の子を持つ親が子育てしていた頃に比べると、今は病院に親子があふれている。			
県の補助は未就学児までで、小中学生は市町村の施策による。			
北方町は財政難なのか。			
新聞によると、県の子育て支援対策の基金が余っているらしい。			
その基金をどうにかできないか。			
保育園の保育料は、北方町は安い。どこに重点を置くかによるのでは。			
今の親さんたちは子育て支援への問題意識が高くて驚いた。			
他市町村に住む友達との交流が増えたからではないか。			
②児童館について			
高屋に児童館ができるそうだが、利用があるのかが問題。			
設計の段階から親が参加し、意見を反映させるべきでは。			
児童館建設と医療費無料化を比べたら、医療費無料化をしてほしい。			
私設だが、近隣にも利用できる児童館があり、充実している。			
近くで遊ぶところもある。			
③学校給食について			
給食参観に行ったことがないが、子どもはおいしいと言っている。			
メニューを見ると、充実しているし、魚がたくさん使われていてよい。			
個々のアレルギーにも個別に対応してくれているらしい。			

④小学校について

先生の指導や対応は十分で、至れり尽くせり。
自分たちの時に比べると、いろいろ考えてくれている。いい先生ばかり。
ひとクラス24, 5人で、少ない。毎年クラス替え。
家でもしない玄関先の拭き掃除や整頓を指導してくれている。
北小でPTA役員をやっていた時、当時できうる限りを尽くして建設したと聞いた南小には興味がある。
子どものいない町民からはフェンスの内側が見えないので興味がある。
門が閉まっている必要はあるが、地域の人からは閉鎖的。
南小は、4, 5年前は教室が足りないくらい。
今は少人数学級が可能な児童数。
高屋西部の区画整理が進むと、児童も増えるのではないかと。
北方町の行政範囲はどこまでなのか。

⑤町内の病院について

病院の数は、北方は多いのではないかと。
国保加入者では、北方町は医者にかかる率は高い。
狭い中に医療機関は充実している。それだけ需要があるということ。
総合病院も近い。

⑥住民向け検診について

北方町は、ガン検診など婦人向けの検診は安い。
よって、他市町村と比較しても町の被検診者は多いのではないかと。
小さい子への支援だけでなく、そのお母さんたちへの支援も。
お母さんも元気じゃないと、子育てはできない。
母として病気で倒れることはできない。

⑦ゴミの分別について

北方町のごみの分別は難しい。
マヨネーズチューブを洗ってリサイクルセンターへ持って行ったら、通常脂分が付いていて洗えないものだからと可燃ゴミになった。
多くが可燃ゴミで出せるみたい。
プラスチックはリサイクル法が適用されるから、分別必要。
法にないものは、可燃ゴミとすれば、処理施設でほとんど跡形なく焼くことができる。
分けるのは難しいけどもっと分別し、リサイクルを増やすべきでは。
ごみ袋は有料化しないのか。有料化すればゴミの量が減るのではないかと。
配られるシールは使いきらない。
生ゴミは畑に埋めているので、ゴミにならない。

- ・ 次回に確認すること

北方町の財政状況

子どもの医療費無料化の県内市町村の実施状況

北方町の都市計画図

ゴミの処理状況

- ・ 次回開催日について

（ 7 月 3 0 日（土）犬山市視察）

8 月 2 7 日（土）午前 1 0 時～